【動画で学ぶシリーズvol.2】

令和7年度 職員の離職防止研修②

①令和6年度実施したオンライン(Zoom)研修を再編！
②理解度「4.66」、活用度「4.52」(R6実績)の注目研修！
③「新人職員は神様か？疫病神か？」に続く離職防止研修の第2弾

「離職防止と指導の両立を考える研修」

～遠慮と退職の悪循環を断つための指導方法と
離職防止を両立させるためのコツ～

注意したら人が辞める？
辞めると困るから注意できない！？
その「遠慮」は誰のため？何のため？

◎配信日時

令和7年9月12日(金)11:00～
令和7年10月31日(金)16:00

◎講師

『講師紹介』
人生のテーマは「人」
【保有資格】
介護福祉士、介護支援専門員 、
スマート介護士Expert
【略 歴】
大学卒業後、介護職員として従事。その後、業務改善や新人・既存職員の指導育成を担当。OJTの他、 介護技術・知識の企画運営などを行う。スウェーデン海外研修へ参加。現場経験に基づいた話には説得力があり、即実践に繋がるとの評価を集める。昨年度の当会主催の離職防止研修の講師

(株)ツクイスタッフ 教育研修部
課長 福嶋 潤一 氏

◎研修の目的

本研修は令和7年1月に開催した、社会福祉施設長研修「職員の離職防止のための研修part.2」(オンライン)の内容を再編し、動画配信としてご受講いただける「離職防止」をテーマにした研修です！

今回は、「**人材の離職防止**」**だけでなく**、サービス向上や職場環境の改善に必要な「**指導**」を両立させるポイントを学びます。**①指導場面において、適切に評価する方法と②指導について学ぶこと**で自身の指導力だけでなく、自施設全体への波及とその「**変化**」をねらいといたします。研修後は、人材の定着の試みと適切な指導方法を重ねて実践することで、職員のレベルの向上を目指し、**施設サービス品質の向上**や**利用者の満足度につながる**ことを目指します。

keyword:**離職防止と指導の両立、評価方法、実践力、人材定着、指導力強化、OJT研修**

◎開催方法

動画配信による講義・演習
※おひとりの受講の場合は個人ワークのみ受講できます。

◎対象

①社会福祉施設の施設長・管理者・所長等
または、これから管理者等に配属される方。(全分野)
②採用担当者・テーマに関心のある職員など
※第1弾の離職防止研修を受講されていなくても、
申し込み可能です。

※個人、または、複数人でご受講いただけます。管理職、
または採用担当者の方、ぜひご受講ください。

④講義や個人演習を中心に、
・一人で学べます。
⑤オンライン研修の動画をもとにしているので、
・複数人で話し合いができます。
(ペアワーク及びグループワーク演習)

◎参加費 お一人2,000円(振込)

※振込期日、振込先は受講決定メールをご参照ください。

申込締切:**8月1日(金)**まで
に下記からお申し込み下さい。

研修申込はこちら

※本研修は「社会福祉施設長資格認定講習課程」には該当しません。

お問い合わせ

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター
研修グループ 【担当:長三・谷】
TEL:06-6762-9035

「離職防止と指導の両立を考える研修」

【研修プログラム(予定)】

～遠慮と退職の悪循環を断つための指導方法と離職防止を両立させるためのコツ～

（ 約2時間45分の研修プログラム、動画のみ約1時間30分を予定）

時間(目安)	プログラムの概要	
講義 約55分	【講義1】 OJTの重要性	●「辞められたら困る」の弊害と解決法 ～人材不足時代のOJTを考える～ ●OJTのメリットとデメリット ●福祉職場における指導環境の特徴、●OJTのステップ
演習 約20分 （個人演習＋GW）	【演習1】 グループディスカッション	●テーマ「指導・教育で難しいこと」 ・指導者としての実践を振り返り、改善すべき問題点の抽出と原因分析をおこなう
講義 約15分	【講義2】 OJTトレーナーに求められる表現力	●指導効果を上げる基盤 ●自尊心の上手な扱い方と守り方
演習 約25分 （自己紹介） （個人演習） （ペアワーク） （振り返り） ×2セット	【演習2】 ※ペアワーク コミュニケーショントレーニング	●テーマ「意見対立場面の実際」 ・講師が設定した意見対立場面において、相手の意見を否定せずに、自身の意見を伝えるロールプレイを行なう。 ・ロールプレイを通して、自身の日頃のコミュニケーション傾向を振り返る
講義 約16分	【講義3】 評価ステップの理解	●評価を与えることの重要性 ●ほめ方・叱り方のポイント
演習35分 （ほめワーク） （叱りワーク） （振り返り）×2セット	【演習3】 ※ペアワーク ほめ方・叱り方トレーニング	●テーマ「ほめる・叱る」 ●講師が提示するテーマに対し、評価を実践する。自身のほめ方・叱り方の効果を振り返り、成長のポイントを掴む
講義 約2分	【講義4】 研修のまとめ	●離職防止とサービス向上、職場環境の改善に必要な指導の両立させるためには

◎本研修は、個人、または複数人で受講できるオンデマンド動画による研修です。
受講者にはレジュメを配布し、個人で視聴される場合は、「講義＋個人演習」に取り組んでください。
また、複数で受講される場合は、上記に加え、グループ演習(ペアワーク等)に取り組んでいただくため、より深い学びとして活用していただけます(任意)。法人内の採用担当者間や管理職向けの内部研修でもご活用ください。動画には一部、複数人でご受講される方向けの表現(話し方、資料の説明など)やオンライン向けの言いまわし等が含まれます。

※オンライン研修をもとにした動画ですので、場面によって、
画質が見えづらい、音声が聞きとりにくいなど一部影響がある可能性がございます。
気になる方は、くれぐれもお申し込みをお控えください。

【お申込みされるにあたって】

◎受講が決定しましたら、視聴期間1週間前をめどに視聴用にかかるID・パスワード等をメールにてご連絡いたします。インターネット等の通信料、受講にかかる費用は受講者の負担になります。
◎本研修を申込された受講者1名のみ受講可能です。ペアワークやグループワークなど職場内研修などで複数で受講を希望される場合は、それぞれ個人単位でお申し込みください。
◎本オンデマンド研修は、LMSの機能を有していないため、受講証明はできません。
◎受講状況の確認のため、アンケートのご協力をお願いいたします。
◎キャンセル等による参加費の返金は、致しかねます。予め、ご了承の上お申し込みください。

◆禁止事項◆

・受講者以外の方が視聴すること。
・専用ページID・パスワード・URLを研修受講者以外の第三者に渡すこと。
・本研修の動画および資料を無断で編集、引用、抜粋すること。
・本研修の動画、資料を無断で複製すること。
・本研修の動画および資料を研修申込者以外に無断で提供、配布、販売すること。
・その他、本動画提供の趣旨に反すること。

職員の「離職防止」について学びたい。
そんなアンケートの声を「かたち」に

令和5年度に社会福祉施設長の皆様を対象にした「職員の離職防止研修」。このたび、その第2弾を企画し、動画配信による研修に再編し、実施することとなりました。
（令和6年度オンライン研修は51名参加、（理解度「4．66」、活用度「4，52」）。
本テーマに関心のある方、職員研修で活用したいと思われる法人の方、
職員の人材確保、育成について、何か新しい取り組みを取り入れたいと思われる方、
お一人からお気軽にお申込みいただけます。ぜひ、ご検討ください。

令和6年度受講者の声（一部抜粋）

・エピソードが多かった。ほめ方と叱り方のトレーニングが良く理解できました。
・人材育成計画や能力評価表は、法人でつかっている人事考課にも繋がると感じた。
・法人では人事考課の見直しが課題になっているがキャリアに応じた能力評価は必要であるし、見える化が大切だなと感じた。
・人材不足と既存職員の退職のサイクルは、現実に感じていたことなので、図で示されることで、それが明確になった。
・コミュニケーションのトレーニングはとても勉強になりました。自分にはヒヤリングが足りていないことを痛感しました。指導者を任せている職員さんにも、先生の研修を受けていただきたいと思いました。
・グループワークや実践があったので、思いの共有ができ、伝え方の場面をイメージしやすかった。
・褒め方、叱り方のポイントをわかり易く伝えて下さったのが良かったです。
・自分自身に役に立ったので、指導を担当する職員と共有したいし、指導者の評価もして安心して指導を担ってもらえたらと思った。
・今回の研修は実際の現場で活用できることが多くあり、当たり前に思っていたことを再度考える機会になりました。
・感覚でやっていることを手法として理解できれば、伝えていきやすい。
・将来、指導的な役割を担っていく部下に対し、本研修で学んだことを取り入れてOJTを実施していきたいと感じました。
・ロールプレイングのような演習が役にたった。演習と実際は違うが、部下が指導することへの演習には使えると思う。
・管理職だけではなく、中間管理職にも下せる内容だった。
・他の指導者にも見てもらいたいので、アーカイブ動画などの配信があれば教えて頂きたい。
・演習をした事で自分の傾向が分かった
・とても分かりやすく、実践性のある内容でした。
・オンラインだと演習の時間が少なかったので、相手の方と話を深める時間が足りなかった。

お申込みお待ちしています！よろしくお願いいたします